みんなでつくるセーフコミュニティ

秩父市では、世界基準の安心・安全なまちづくりを進める都市として、セーフコミュニティの国際認証を取得しました。

そこで、セーフコミュニティとはどういう活動なのか考えてみたいと思います。

秩父市では、平成24年9月にセーフコミュニティ取組宣言をして以来、約3年にわたる活動を経て、平成27年11月15日に、国内で11番目、世界では363番目に国際認証を取得しました。

セーフコミュニティとは？

セーフコミュニティ活動は、新しく特別なことをする、というものではありません。従来からさまざまな団体の皆さんが行っている、安全なまちづくりの取り組みをより質の高い活動にすることを目指すものです。セーフコミュニティのポイントは、

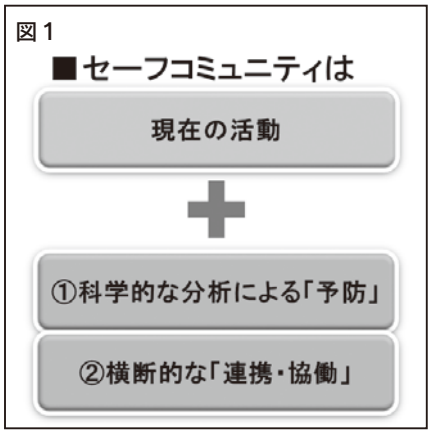
①科学的なデータ（根拠）に基づいて、リスクの高い環境や人へアプローチすること。

②多くの関係団体が分野を越えて協働していくこと。

の2点となります（**図1**）。

国際認証取得団体が使用できるセーフコミュニティマーク

図1



あなたもできるセーフコミュニティ

セーフコミュニティ活動は、難しい取り組みではありません。ここでは、生活の中で実践できる取り組みをご紹介します。

①自宅の施錠を徹底する

犯罪の防止対策委員会での検討の結果、平成25年の侵入窃盗被害のうち6割が無施錠で被害に遭っていたことがわかりました。

そこで、対策委員会では「鍵かけ運動」を推進し、シール（**図2**）やチラシの配布により、施錠を徹底するよう呼びかけています。留守であれば、モノを盗まれるだけで済みますが、もしも在宅時に強盗に侵入された場合は、命の危険にさらされる可能性があります。日頃から、外出時はもちろん、在宅時でも施錠するようを心がけましょう。

図2

②早朝・夜間の外出時は反射材を着用する

交通安全対策委員会での検討結果では、早朝・夜間などの暗い時間帯に、高齢者の歩行中の交通事故が多いことがわかりました。また、重傷・死亡事故も多くなっています（**図3**）。

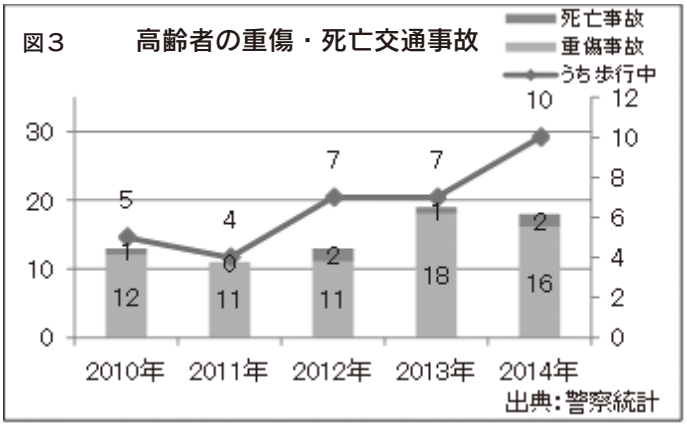
そこで、対策委員会では、高齢者向け交通安全教室などで、反射材着用を重点的に呼びかけるよう改善しました。反射材を着用するだけで、暗闇でも遠くから視認できるようになるので、暗い時間帯に徒歩で外出する際には、必ず反射材を着用しましょう。

今後も、安心・安全なまちづくりのため、データの収集・分析、取り組みの計画・実施・検証・改善を継続的に進めます。

今回紹介したように、セーフコミュニティ活動は、普段の生活の中で簡単に実践できるものです。安心・安全なまちづくりのため、皆さんもぜひご参加ください。

問 危機管理課☎22－2206

図3



通話料無料！防災行政無線の放送内容が聞きづらい場合は電話で確認ができます。
防災無線ダイヤル　カクニンくん☎0800－800－5747